



# あかるく かしこく たくましく

教育目標：夢や目標に向かい

あかるく かしこく たくましく行動していく子供の育成

宇城市立当尾小学校

令和7年6月18日号

文責 田原里恵

ご協力ありがとうございます。

先日、コンビニ強盗が発生し、宇城市内小中学校は臨時休校となりました。昨日、犯人が逮捕されたというニュースを聞き、保護者のみなさまも一安心されたことと思います。この1週間、登下校の際の送迎や集団登校の見守りなど、多くのご協力をいただきありがとうございました。また、民生委員児童委員の方々も、通学路のあちこちで見守りをしてくださり、大変感謝申し上げます。このような事件が再び発生することがないように願うとともに、保護者のみなさま、地域のみなさまのご協力を引き続きよろしくお願い致します。



6月は「心のきずなを深める月間」です。

熊本県の小中学校、県立学校では、6月を「心のきずなを深める月間」として、各学校さまざまな取組を行っています。当尾小学校では、全校児童への学校生活アンケートを行い、アンケートをもとに、担任が全児童一人ひとりと面談を行っています。面談を行うことで、文字ではわかりにくい子どもの言葉での気持ちや考えを聞くことができます。担任は、「学校が楽しい」「楽しくない」理由や、「いじめはあったかどうか」などをていねいに聞いています。何か困りごとがあったときに、担任や担任外の職員、ご家族など、誰かにその困りごとを伝えられることはとても大事なことです。学年に応じて、子どもたちにしっかり伝えていきます。併せて、子どもたち(児童会)が中心となって企画する子どもたち同士のきずなを深める取組も行う予定です。取組の様子は改めてご紹介します。



## 全学年、人権学習に取り組んでいます。

6月中旬から7月上旬にかけて、全学年、人権学習に取り組めます。24日(火)の授業参観では、1年、3年、5年生が人権学習を公開します。全ての学校において、毎年度、計画的に人権学習に取り組んでいますが、未だにさまざまな人権問題に対する間違った認識や誤情報等があるのは事実です。学校では、学年に応じたねらいで学習を進めています。ここでは、各学年の人権学習の題材と簡潔にあらわした学習のねらいを紹介します。学年→題材名→学習のねらいの順で記しています。

- 1年:「てつぼうきらい」・・・自分の思っていることをみんなの前で言うようにする。友だちと仲良くする態度を育てる。
- 2年:「りえさんのいいところ」・・・自分のいいところを伸ばそうとする気持ちを育てる。
- 3年:「とびばこ」・・・他人の失敗を笑うことのおかしさに気づき、勇気を持って周りの子たちに指摘できることが本当の友だちであることがわかる。
- 4年:「雨のバスでいりゅう所で」・・・きまりを守る大切さについて考える。
- 5年:「この子とともに」・・・水俣病患者家族に向けられた差別の実態を知り、差別を許さない態度を育てるとともに、差別を見抜き、なくそうとする学級づくりにつなげる。
- 6年:「平和学習で学んだこと」・・・修学旅行を中心として平和学習に取り組んで学んだことをもとに、平和について自分たちができることを考える。

## SNSの利用についての学習 ～宇城警察署生活安全課の 富永巡査部長を講師に招いて～

13日(金)に、5・6年生は、SNSの使い方についての学習を行いました。宇城警察署生活安全課の富永巡査部長に講師として来校いただきました。SNSは便利なものであるとともに、誤った使い方により、被害者にも加害者にもなります。県内でも小中学生の被害者・加害者数も増加傾向にあります。本校でも、多くの子どもたちが自分で自由に使えるインターネットに接続できる媒体を持っている状況です。子どもさんと一緒に、ご家庭でも加害者・被害者にならない使い方についてしっかり話し合っていいただければと思います。

